

注:品質と付加価値のさらなる向上を目指すため、*Panduit*では製品は常に改善と改良を続けています。そのため、写真については同梱の製品と異なる場合があります。

PANDUIT

パンドウイトコーポレーション
日本支社サイト

www.panduit.co.jp

カスタマーサービス
電話番号 : 03-6863-6060



FCC 準拠に関する声明 アメリカのユーザー向け

本機器は、テストの結果 FCC 規則第 15 条に準ずるクラス A デジタル機器の制限に準拠していることが認められています。これらの制限は、本機器が商業地域において操作されたときに、有害な電波干渉から適切に保護することを目的としています。本機器は、電磁波を発生および使用し、放射する可能性があるため、説明書に従って設置または使用した場合、無線通信を妨害することがあります。本機器を住宅地域で操作した場合に、有害な電波干渉を発生させる原因となりますので、ご自身の責任でその干渉を修正する必要があります。

EMS および EMI 準拠に関する声明 ヨーロッパのユーザー向け

本機器は、標準規格 EN 55022:1998+A1:2000+A2:2003、CISPR 22、クラス A EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003、IEC 61000-4 シリーズ EN 61000-3-2 / 2000 & EN 61000-3-3 / 1995 に基づく電磁適合性(電磁波による障害を受けない特性を有すること)に関する要件のテストに合格しています。

TDP43ME プリンタ (この声明の対象製品) は、以下の標準規格に準拠しています。

EN55022 :1998、CISPR 22、クラス A/EN55024 :1998/IEC 61000-4 Serial / EN61000-3-2 :2000 / EN 6100-3-3 :1995 / CFR 47、Part 15/CISPR 22 第 3 版 :1997、クラス A/ANSI C63.4 :2001 / CNS 13438 / IEC60950-1 :2001 / GB4943 :2001 / GB9254 :1998 / GB17625.1 :2003 /EN60950-1 : 2001

本仕様は予告なく変更される場合があります。



安全上のご注意

	警告 このツールを操作または修理するときは、本マニュアルに記載されている説明や安全上の注意をすべて読み、よく理解した上で行ってください。
--	---

	注意 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
--	--

	注意 感電のおそれがあります。 - 本機器を電源出力に接続する前に電源の電圧を確認してください。 - 過渡荷電圧による電圧損傷の発生を防ぐためには、本機器を電源から切断してください。 - 本機器に液体をかけないでください。感電の原因となることがあります。
--	--

	注意 本機器を保管する際は、水分や湿気を避けてください。
--	--

注意 * 本機器を分解・改造しないでください。また機械内部の点検・調整・修理は弊社までお問い合わせください。 * 本機器の電源をオンにした状態のときは、いかなる状況であっても、修理や調整を単独で行わないでください。 * ケガをした場合は、直ちに応急処理や応急手当を必ず受けてください。	
--	--



目次

1. プリンタ	1
1-1. プリンタアクセサリ	1
1-2. 一般的な仕様	1
1-3. 通信インターフェイス	3
1-4. プリンタの部品	5
2. プリンタの設置	7
2-1. リボンの装着	7
2-2. ラベルの装着	9
2-3. PCの接続	13
2-4. ドライバのインストール	14
3. コントロールパネル	17
3-1. LEDステータス	17
3-2. FEED (フィード)キー	19
3-3. セルフテスト	19
3-4. 印刷モードの確認	20
3-5. 自動検出モード	20
3-6. ダンプモード	20
3-7. センサーの確認	21
3-8. エラーメッセージ	22
4. 停止位置設定	23
5. 保守と調整	25
5-1. 熱転写印字ヘッドクリーニング	25
5-2. トラブルシューティング	26



1. プリンタ

1-1. プリンタアクセサリ

製品パッケージを開封したら、付属のアクセサリを確認し、適切に保管してください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ◆ TDP43ME/E プリンタ | ◆ CD (Easy-Mark™ ラベル印字ソフト) |
| ◆ 電源コード | ◆ CD (プリンタドライバ) |
| ◆ 電源アダプタ | ◆ ラベルロールコア |
| ◆ USBケーブル | ◆ ラベルロールコアサイドプレート |
| ◆ ハイブリッドリボン1巻 | ◆ リボン巻き取り軸(2本) |
| ◆ 空のリボンコア | ◆ カッター |
| ◆ 熱転写印字ヘッドクリーニングペン | |
| ◆ TDP43ME/Eクイックガイド | |

1-2. 一般的な仕様

モデル	TDP43ME/E
解像度	300 dpi (12 ドット/mm)
印刷モード	熱転写
CPU	32 ビット
メモリ	4MB フラッシュ、8MB SDRAM
印刷速度	2 IPS - 4 IPS
印刷の長さ	最小印字長 12mm (0.47 インチ)、 最大印字長 762mm (30 インチ)
印刷幅	105.7mm (4.16 インチ)
センサータイプ	シースルーセンサー、反射式センサー、
センサー検出	タイプ: ラベルギャップと黒マーク検知。 検出: ラベル長自動検出および/またはプログラムコマンド設定
ラベル用紙	ラベルロール外径: 最大 125mm (4.92 インチ) ラベルコア直径: 25mm (1 インチ)、38mm (1.5 インチ)、76mm (3 インチ) 幅: 25mm (1 インチ)~118mm (4.64 インチ) 厚さ: 0.06~0.25mm (0.0025~0.0098 インチ)
リボン	長さ: 300M 最大リボンロール外径: 68mm (2.67 インチ) タイプ: 以下の幅の熱転写リボン (ハイブリッド、およびレジン): 30~110mm (1.18~4.33 インチ) コア内径: 25.4mm (1 インチ)
プリンタ言語	EZPL Programming Language (EZPL プログラミング言語)
ソフトウェア	- DLL とドライバ: Microsoft Windows 2000 および XP、Vista (32/64 ビット)、Microsoft Windows 7 (32/64 ビット) - Easy-Mark ラベル印字ソフト

画像処理	BMP と PCX をサポート。ソフトウェアを使用して ICO、WMF、JPG、EMF ファイルをサポート。ソフトウェアを使用して画像のサイズ変更、回転、マッピングおよび反転をサポート
常駐 バーコード形式	Code 39、Code 93、Code 128 (subset A, B, C)、UCC/EAN-128 K-Mart、UCC/EAN-128、UPC A / E (add on 2 & 5)、I 2 of 5、I 2 of 5 with Shipping Bearer Bars、EAN 8 / 13 (add on 2 & 5)、Codabar、Post NET、EAN 128、DUN 14、MaxiCode、HIBC、Plessey、Random Weight、Telepen、FIM、China Postal Code、RPS 128、PDF417、Datamatrix code & QR code
インターフェイス	シリアルポート: RS-232 (ボーレート: 4800~115200、Xon/Xoff、DSR/DTR) USB ポート: V2.0 パラレルポート: 双方向 イーサネット TCP/IP ポート(ワイヤレス – オプション)
コントロールパネル	2 色 LED (2 個): Ready (準備完了)、Status (ステータス) 機能キー: FEED (フィード)
電源	自動切替 100/240VAC、50/60 Hz
環境	操作: 5~40°C (41~104°F) 保管: -20~50°C (-4~122°F)
湿度	操作: 30~85%、非結露。埃のない空気。 保管: 10~90%、非結露。埃のない空気。
対応規格と認証	CE、FCC クラス A、CCC、CB、cUL、RoHS、WEEE
プリンタの寸法	長さ: 285 mm (11.2 インチ) 高さ: 171 mm (6.8 インチ) 幅: 226 mm (8.9 インチ) 重量: 2.72 Kg

本仕様は予告なく変更される場合があります。

1-3. 通信インターフェイス

パラレルインターフェイス

ハンドシェイク : DSTB はプリンタに接続されます。BUSY はホストに接続されます
 インターフェイスクーブル : IBM PC と互換性のあるパラレルケーブル
 ピンアウト : 以下参照

ピン番号	ファンクション	トランスミッタ
1	/Strobe	ホスト/プリンタ
2-9	Data 0-7	ホスト
10	/Acknowledge	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	/Paper empty	プリンタ
13	/Select	プリンタ
14	/Auto-Linefeed	ホスト/プリンタ
15	N/C	
16	Signal Gnd	
17	Chasis Gnd	
18	+5V、最大 500mA	
19-30	Signal Gnd	ホスト
31	/Initialize	ホスト/プリンタ
32	/Error	プリンタ
33	Signal Ground	
34-35	N/C	
36	/Select-in	ホスト/プリンタ

シリアルインターフェイス

シリアルデフォルト設定 : ボーレート(9600bps)、パリティ(なし)、データビット(8)、ストップビット(1)、プロトコル(XON/XOFF)および RTS/CTS。

RS232 ハウジング(9 ピン-9 ピン)

DB9ソケット		DB9プラグ
---	1 1	+5V、最大500mA
RXD	2 2	TXD
TXD	3 3	RXD
DTR	4 4	N/C
GND	5 5	GND
DSR	6 6	RTS
RTS	7 7	CTS
CTS	8 8	RTS
RI	9 9	N/C
PC		プリンタ

【注】 パラレルポートおよびシリアルポートからの総電流出力は500mAを超えることはできません。

USBインターフェイス
コネクタタイプ：タイプ B

ピン番号	1	2	3	4
ファンクション	VBUS	D-	D+	GND

インターナルインターフェイス

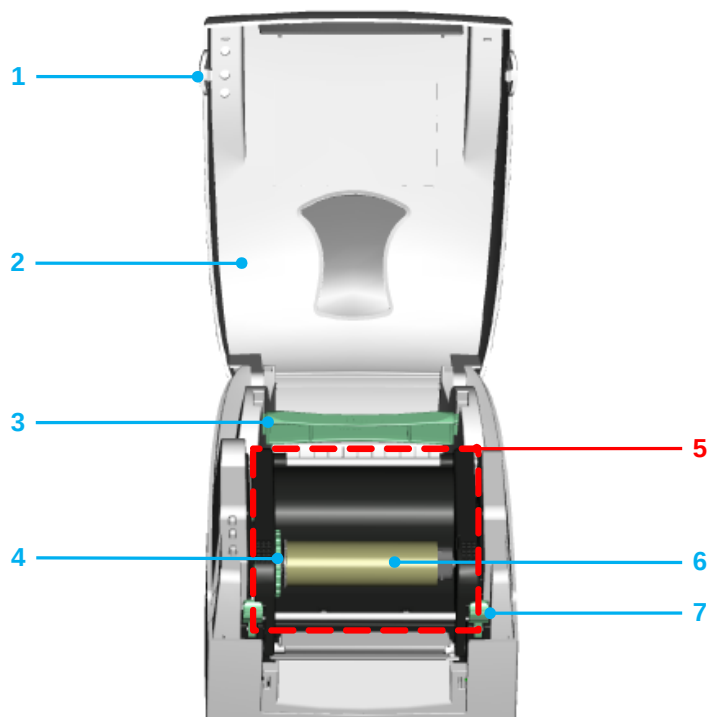
UART1ウェア	
N.C	1
TXD	2
RXD	3
CTS	4
GND	5
RTS	6
E_MD	7
RTS	8
E_RST	9
+5V	10
GND	11
+5V	12

イーサネットモジュール	
N.C	1
RXD	2
TXD	3
RTS	4
GND	5
CTS	6
E_MD	7
CTS	8
E_RST	9
+5V	10
GND	11
+5V	12

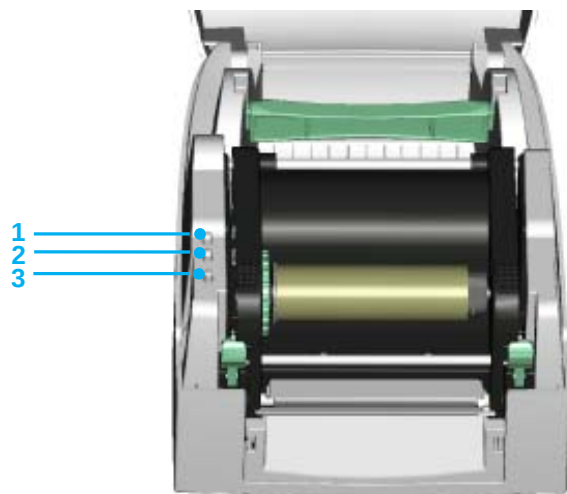
UART2ウェア	
+5V	1
CTS	2
TXD	3
RTS	4
RXD	5
GND	6

拡張モジュール	
+5V	1
RTS	2
RXD	3
CTS	4
TXD	5
GND	6

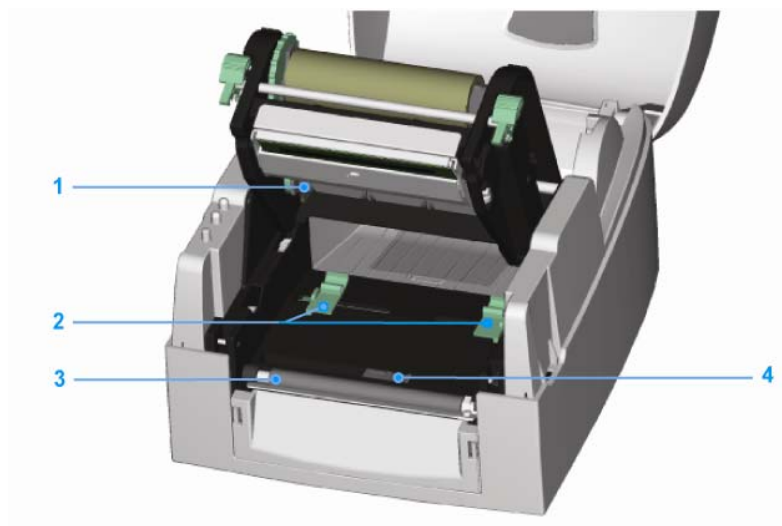
1-4. プリンタの部品



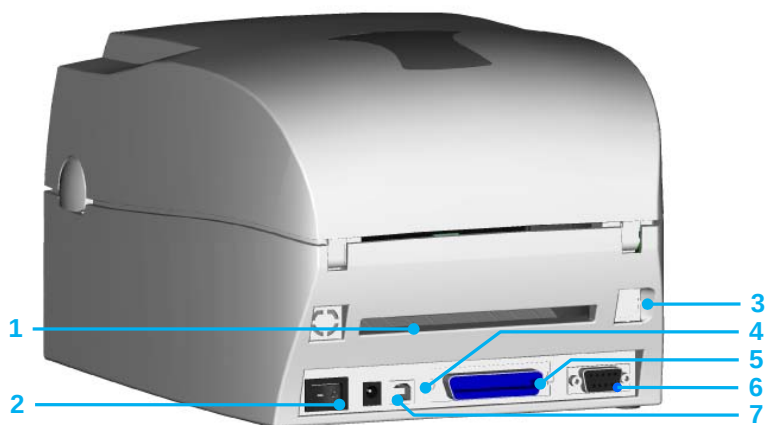
1. カバーオープンボタン
2. トップカバー
3. ラベルロールコア
4. リボン巻き取りホイール
5. 印字機構部
6. リボン巻き取り軸 + 空のリボンコア
7. ロックボタン(左/右)



1. LED ライト(Ready)
2. LED ライト(Status)
3. FEED (フィード)キー



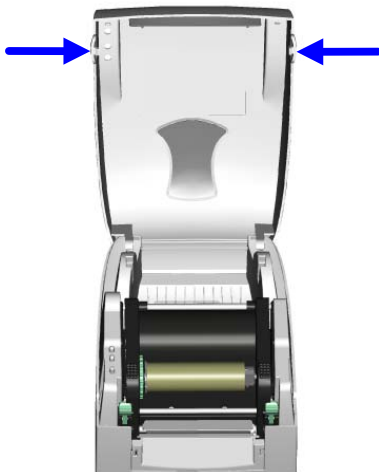
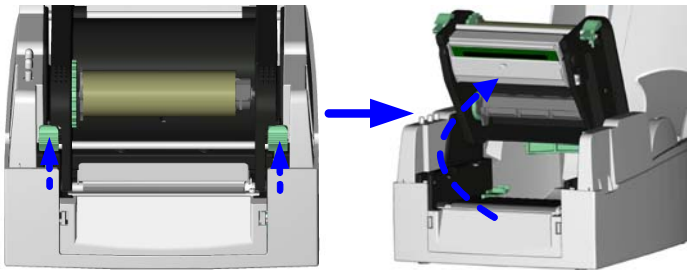
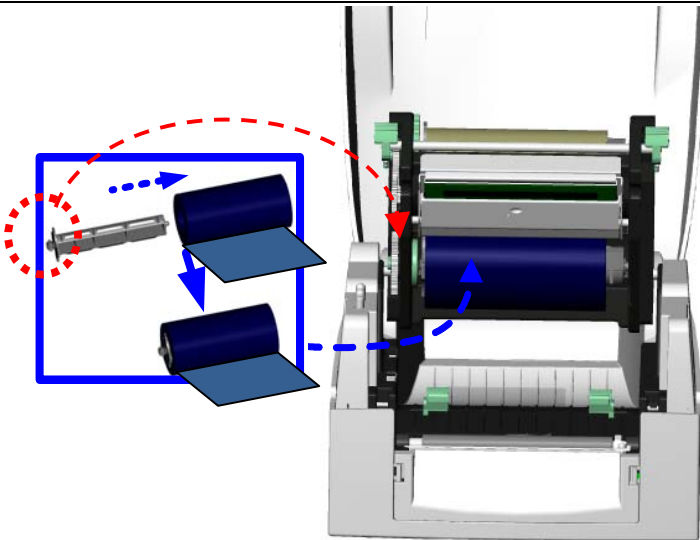
1. リボンサプライシャフト
2. ラベルガイド(左右 2 か所)
3. プラテンローラー
4. ラベルセンサー



1. ラベル挿入口(背面)
2. 電源スイッチ
3. イーサネットポート
4. USB ポート
5. パラレルポート
6. シリアルポート
7. AC アダプターポート

2. プリンタの設置

2-1. リボンの装着

1. プリンタは水平な場所に設置します。両側の「カバーオープンボタン」を押してトップカバーを開きます。	
2. 左右のロックボタンを押して印字機構部を緩めて持ち上げます。	
3. 新しいリボンロールのコアにリボン巻取り軸を差し込み取り付けます。 ※左図のように、リボン巻取り軸の向きに注意して差し込んでください。 4. その後、リボンサプライシャフトに取り付けます。（左側の突起をまず差し込み、次に右側をスライドさせ取り付けます）	

5. リボンをリボンサプライシャフトから印字ヘッドの下にフィードします。
6. 空のリボンロールコアを印字機構部にとりつけます。

※空のリボンロールコアの取り付け方

1) 空のリボンコアに、リボン巻取り軸を差し込み取り付けます。

2) その後、印字機構部上部（図→部）に取り付けます。
左側の突起を取り付けた後、右側をスライドさせて取り付けます。

7. リボンを印字ヘッドに巻き付け、空のリボンロールコアに貼り付けます。

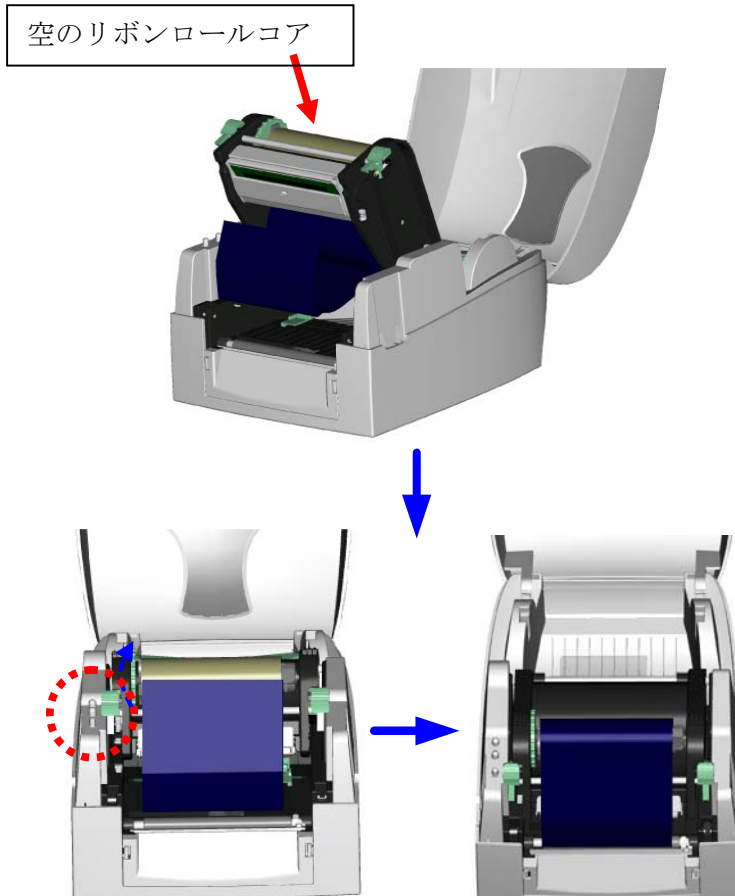
8. 貼り付けたら左のリボン巻取りホイールを回してリボンを巻取り、緩みをなくします。

【注】

リボンコアがリボンシャフト(心棒)上で空回りしていないか確認してください

【注】

フロントカバー裏面に添付してある図を参照して、リボンの装着向きを確認してください。



9. 上部印字機構部をカチっというまでしっかりと閉じます。
10. もう一度リボン巻取りホイールを回して、リボンに緩みのないことを確認します。

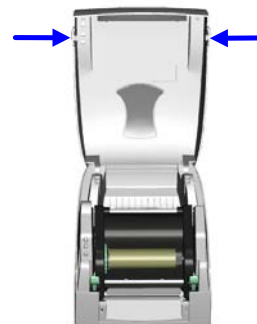


2-2. ラベルの装着

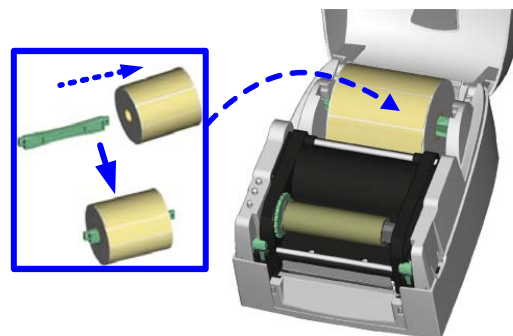
2-2-1. ラベルロール内径が 1 インチおよび 3 インチ(外径 125mm 以内のみ)の場合

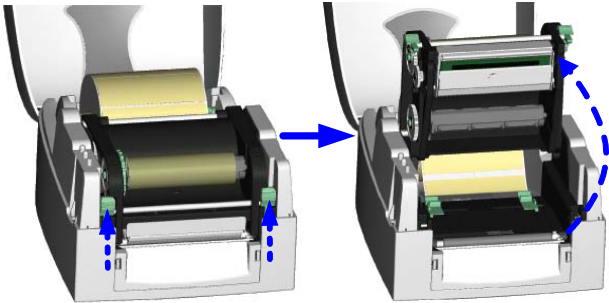
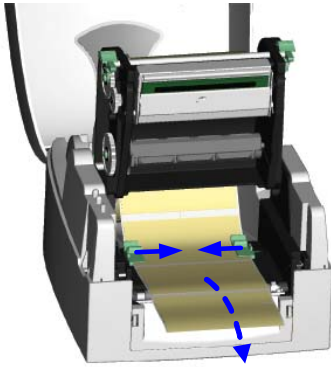
※ラベル外径 125mm 以上の場合は、別売のロールスタンド(TDP43ME-RS)が必要です。

1. 両側の「カバーオープンボタン」を押してトップカバーを開きます。



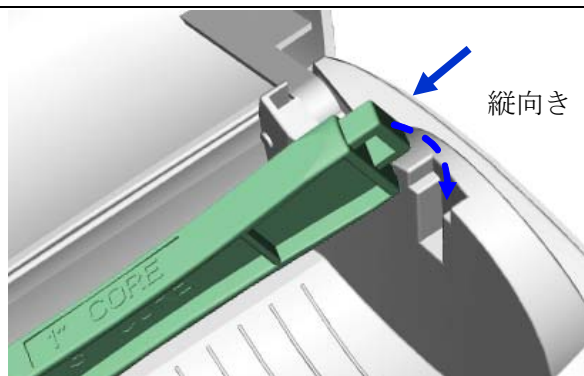
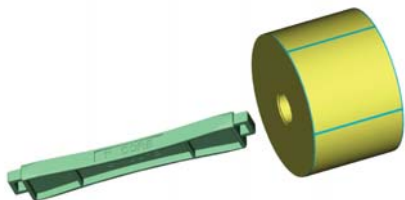
2. ラベルロールをラベルロールコアに取り付けます。
3. ラベルロールコアサイドプレートを、ラベルの両脇に取り付け固定します。
4. ラベルの印字部が上になるようにプリンタに取り付けます。
(次項 2-2-2. ラベルロールコアの取り付け手順をご参照ください)



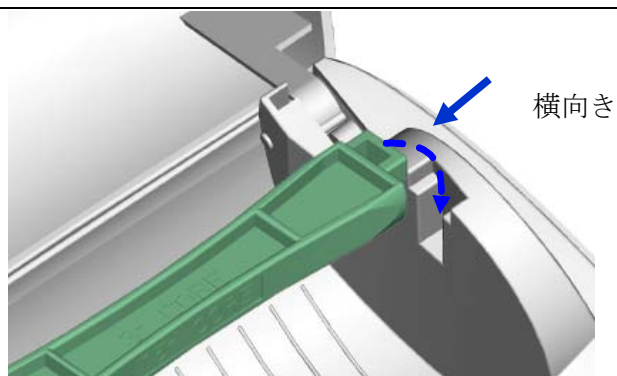
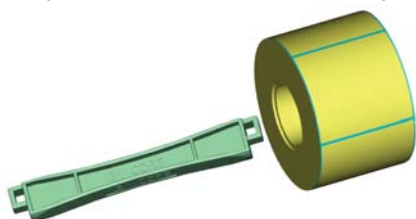
5. ロックボタンを押して印字機構部を緩めて持ち上げます。	
6. ラベルを左右のラベルガイドを通して切り取りバーの上に送ります。 7. ラベルガイドを調節しラベルの端に位置合わせします。	
8. 印字機構部を上部からカチっというまでしっかり閉じて、ラベルの装着を終了します。	

2-2-2. ラベルロールコアの取り付けの手順

(A) 1 インチロールコアの取り付け

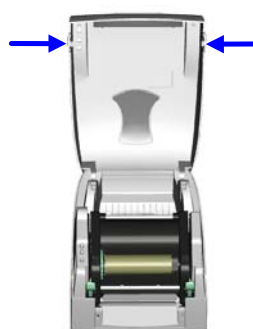


(B) 3 インチロールコアの取り付け
(ラベル外径 125mm 以内のみ)



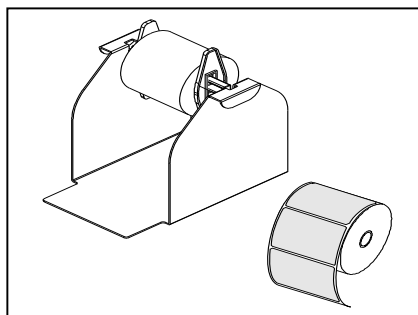
2-2-3. 別売のロールスタンド(TDP43ME-RS)を使用する場合

1. 両側の「カバーオープンボタン」を押してトップカバーを開きます。



2. 図のように、ラベルの印字面が上になるように、ロールスタンドにラベルロールを取り付けます。

3. プリンタの背面にセットします。



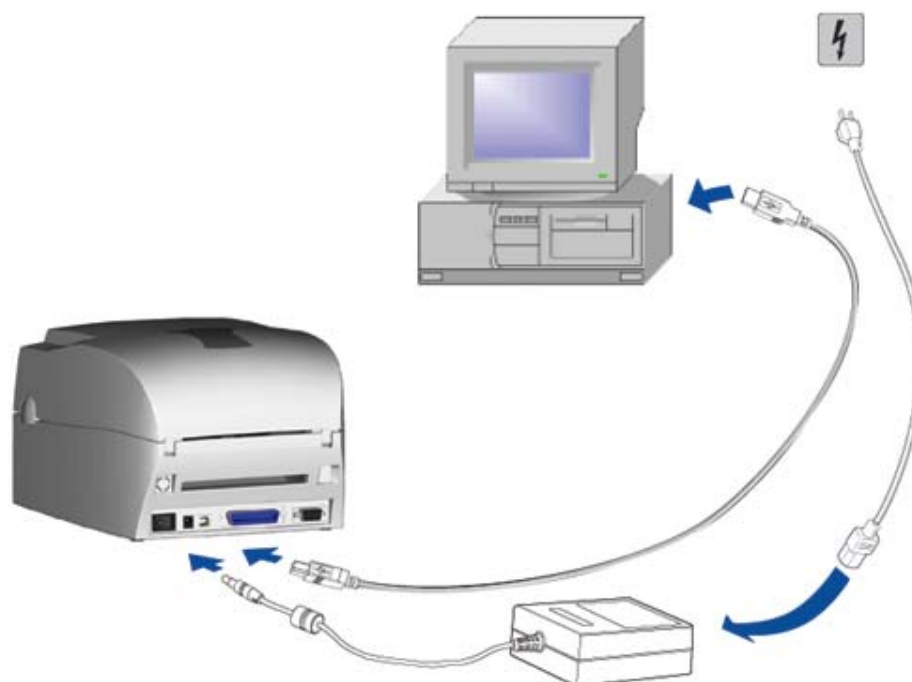
4. プリンタ背面のラベル挿入口から、ラベルの印字面が上になるように差し込みます。

5. 2-2-1 の手順 5～8 と同様の作業を行います。



2-3. PC の接続

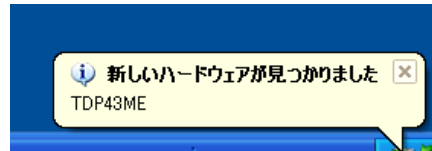
1. プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
2. 電源コードをプリンタに接続します。
3. プリンタおよび PC の USB ポートに USB ケーブルを接続します。
4. プリンタの電源をオンにしてください。プリンタの LED が点灯します。



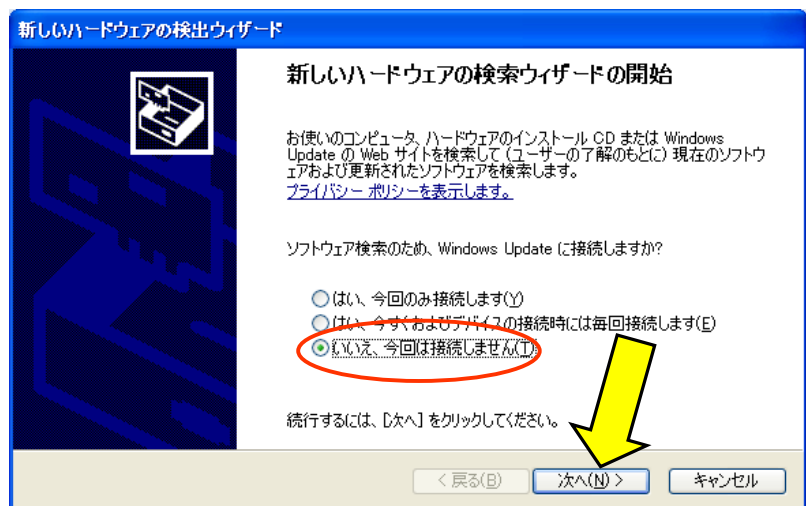
2-4. ドライバのインストール

製品 CD を使用して、プリンタドライバを USB ポートでインストール

1. プリンタと PC を USB ポートで接続し、プリンタの電源をオンにすると、次のウィンドウが表示されます。

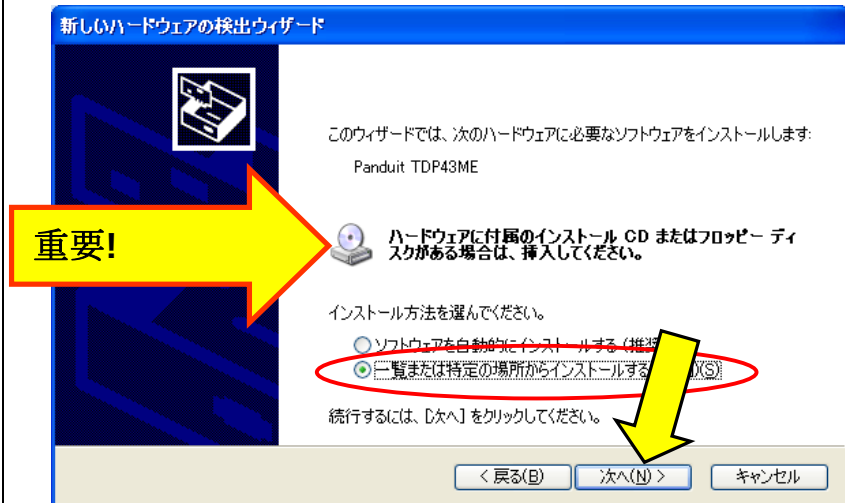


2. 次のウィンドウが表示されてインストールプロセスが続行されます。
3. 製品 CD を使用する場合は、**「いいえ、今回は接続しません」**を選択し「次へ」をクリックします。



4. 次のウィンドウが表示されてインストールプロセスが続行されます。

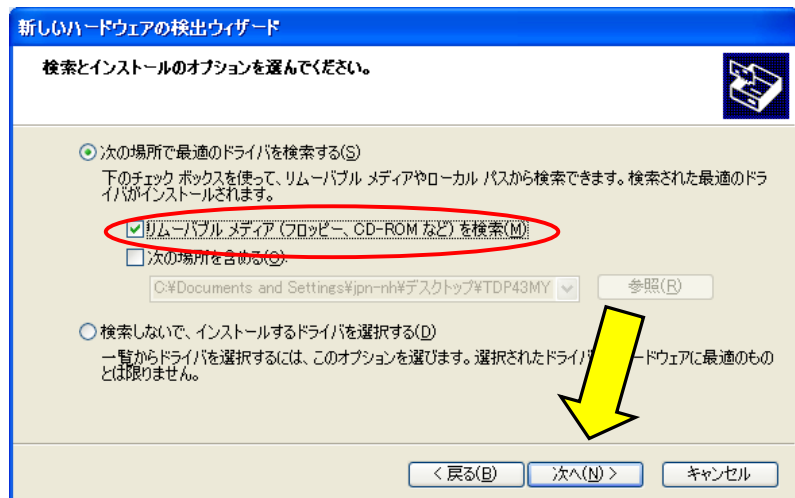
5. 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。



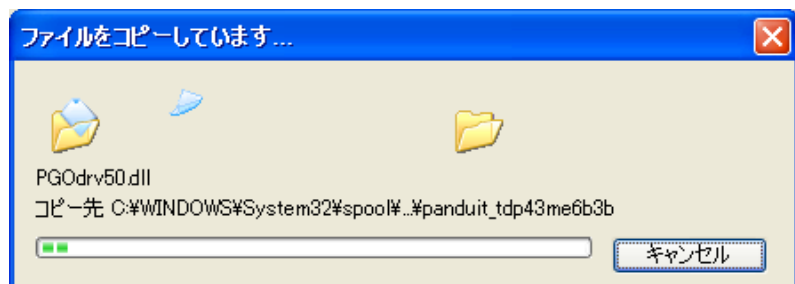
6. 次のウィンドウが表示されます。

7. 製品 CD を CD ドライブに挿入した状態で、「リムーバブルメディアを検索」を選択します。

「Next (次へ)」をクリックします。

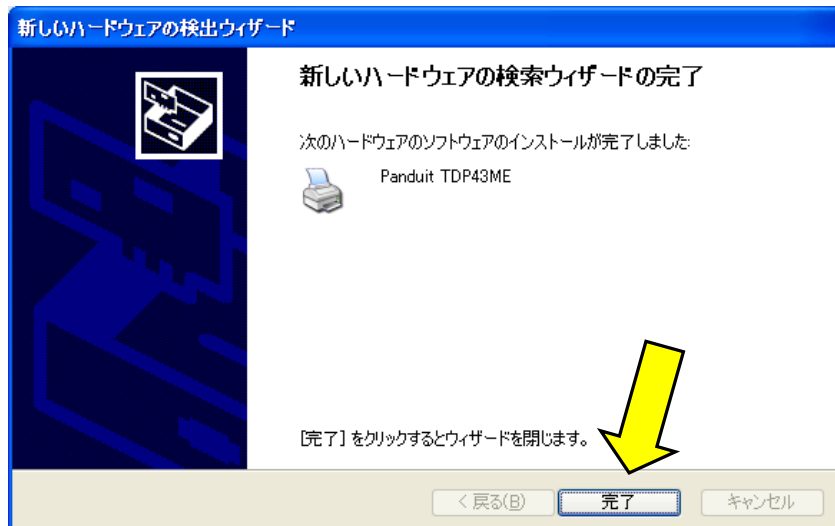


8. プリンタドライバのロードとインストールが開始します。

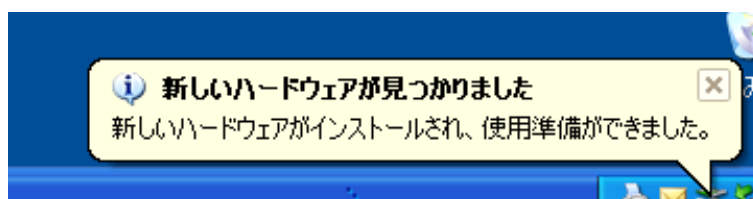


9. プリンタドライバのインストールはこれで完了です。

「完了」をクリックします。



10. 左図のウィンドウがポップアップ表示され、プリンタドライバが正常にインストールされたことを示します。



3. コントロールパネル

3-1. LED ステータス

FEED(フィード)キーを押し続けたままプリンタの電源をオンにすると、プリンタは 3 回ビープ音を鳴らしてセルフテストステータスになります。FEED(フィード)キーをそのまま押し続けると、ステータスは順番に、自動検出モード、ダンプモード、ダイレクトサーマルモード、熱転写モード、シースルーセンサーオン/オフに変わってから、セルフテストに戻ります。上記のそれぞれのステータスを選択することで、プリンタの設定を変更できます。以下に、それぞれのステータスについて説明します。

READY

STATUS

FEED

	LEDライト	ビープ音	ステータス	説明
READY ライト	緑色	1	通常のステータス	通常のステータス
STATUS ライト				
FEED (フィード)キーを押し続けてから、プリンタの電源をオンにします。				
↓				
READY ライト	赤色 (点滅)	3	セルフテスト	セルフテストページを印刷します。操作の手順については、19ページを参照してください。
STATUS ライト	オレンジ色			
↓				
READY ライト	オレンジ色 (点滅)	1	自動検出モード	プリンタは現在自動検出モードです。操作の手順については、20ページを参照してください。
STATUS ライト	オレンジ色			
↓				
READY ライト	緑色 (点滅)	1	ダンプモード	プリンタは現在ダンプモードです。操作の手順については、20ページを参照してください。
STATUS ライト	オレンジ色			
↓				
READY ライト	赤色 (点滅)	1	ダイレクトサーマル(DT)モード	このモードは使用しません
STATUS ライト	赤色			
↓				
READY ライト	オレンジ色 (点滅)	1	熱転写(TT)モード	プリンタを熱転写(TT)モードに設定します。操作の手順については、20ページを参照してください。
STATUS ライト	赤色			
↓				



READY ライト	緑色(点滅)	1	シースルーセンサー オン/オフ	プリンタをシースルーセンサーオン/オフに設定します。操作の手順については、21ページを参照してください。
	赤色			
↓ セルフテストに戻ります				
READY ライト				プリンタは現在 F/W をダウンロードしています
STATUS ライト	赤色(点滅)			



3-4. 印刷モードの確認

パンドウイト社製ラベルは、すべて熱転写専用ラベルです。もし、ラベルに何も印字されないといった問題が起こった場合は、下記の手順に従い、印刷モードが熱転写になっていることを確認してください。

1. プリンタの電源をオフにし、FEED (フィード) キーを押し続けます。
2. FEED (フィード) キーを押し続けたまま、プリンタの電源をオンにすると、プリンタが 3 回ピープ音を鳴らします。そのまま FEED (フィード) キーを押し続け、STATUS (ステータス) ライトが赤色になり、READY (準備完了) ライトがオレンジ色に点滅するまで待ってから、FEED (フィード) キーを放します。するとプリンタは自動的に下記の文字を印刷します。

NOW IS THERMAL TRANSFER (TT MODE) (熱転写(TT)モードです)

これで、プリンタが現在熱転写(TT)モードであることが確認できます。

3-5. 自動検出モード

プリンタはラベル長を自動的に検出(シースルー)して記録することができます。この機能により、プリンタは、印字長の設定を行わなくてもラベル(ギャップ)位置を正確に検出できます。

1. プリンタの電源をオフにします。
2. FEED (フィード) キーを押したまま、プリンタの電源をオンにすると、プリンタが 3 回ピープ音を鳴らします。そのまま FEED (フィード) キーを押し続け、STATUS (ステータス) ライトがオレンジ色になり、READY (準備完了) ライトがオレンジ色に点滅するまで待ってから、FEED (フィード) キーを放します。プリンタはラベルサイズ/長を自動的に検出して記録します。

測定後、プリンタはスタンバイモードに戻ります。

3-6. ダンプモード

ラベル設定と印字結果が相互に一致しないときは、ダンプモードを開始してプリンタと PC 間のデータ伝送に誤りがないかどうかをチェックすることをお勧めします。たとえば、プリンタが 8 つのコマンドを受信するとき、これらのコマンドを処理していない場合は、コマンドの内容のみをプリントアウトします。この場合は、コマンドが正しく受信されたかどうかを確認します。ダンプモードを開始するテスト手順は以下です。

1. プリンタの電源をオフにします。
2. FEED (フィード) キーを押したままプリンタの電源をオンにします。
3. そのまま FEED (フィード) キーを押し続け、STATUS (ステータス) ライトがオレンジ色になり、READY (準備完了) ライトが緑色に点滅するまで待ってから、FEED (フィード) キーを放します。プリンタは自動的に「DUMP MODE BEGIN (ダンプモード開始)」と印字します。これで、プリンタがすでにダンプモードであることが示されます。
4. プリンタにコマンドを送信し、プリントアウトされたものが送信済みコマンドと一致するかどうかをチェックします。

キャンセルする (ダンプモードを終了する) には、FEED (フィード) キーを押します。プリンタは自動的に「OUT OF DUMP MODE (ダンプモード終了)」とプリントアウトします。これで、プリンタが現在スタンバイモードに戻っていることが示されます。ダンプモードを終了する際に、プリンタの電源をオフにする方法もあります。



3-7. センサーの確認

TDP43ME プリンタには、反射式センサーとシースルーセンサーの 2 種類のセンサーがあります。パンドウイト社製ラベルを印刷するのに使用するセンサーは、シースルーセンサーのみです。ラベルを検出しない等の問題が起こった場合、センサーの設定が変更されてしまった可能性があります。下記の手順に従いシースルーセンサーの設定を確認し、必要に応じて設定し直してください。

1. シースルーセンサーのステータス(オンまたはオフ)を確認するには、自動検出モード（ページ 20 参照）を 1 回実行してください。
2. 自動検出を実行したときに READY ライトと STATUS ライトが両方とも緑色に点灯した場合、シースルーセンサーはオンです。センサーは正しく設定されています。
3. READY ライトと STATUS ライトが両方ともオレンジ色に点灯した場合は、シースルーセンサーがオフになっています。下記の手順に従いシースルーセンサーをオンに設定し直してください。

①プリンタの電源をオフにします。

②FEED (フィード)キーを押したまま、プリンタの電源をオンにすると、プリンタが 3 回ビープ音を鳴らします。そのまま FEED (フィード)キーを押し続け、STATUS (ステータス)ライトが赤色になり、READY (準備完了)ライトが緑色に点滅するまで待ってから、FEED (フィード)キーを放します。プリンタは自動的に下記のいずれかを印字します。

SEE-THROUGH SENSOR IS ON (シースルーセンサーオン)
または
SEE-THROUGH SENSOR IS OFF (シースルーセンサーオフ)

③「SEE-THROUGH SENSOR IS ON (シースルーセンサーオン)」と印字した場合：シースルーセンサーがオンに設定されました。

「SEE-THROUGH SENSOR IS OFF (シースルーセンサーオフ)」と印字した場合：シースルーセンサーがオフに設定されてしまいましたので、上記の手順を繰り返してシースルーセンサーをオンに設定し直してください。「SEE-THROUGH SENSOR IS ON (シースルーセンサーオン)」と印字されるのを確認してください。

3-8. エラーメッセージ

LEDライト		ビーブ音	説明	解決策
Ready (準備完了)	ステータス			
	赤色	4回ビーブ音を2度	印字ヘッドがしっかり閉じていません。	印字ヘッドをもう一度開いて、しっかり閉じてください。
赤色 (点滅)	赤色 (点滅)	なし	印字ヘッドの温度が高すぎます。	印字ヘッドの温度が通常の温度範囲に下がるまで待ちます。プリンタはスタンバイモードに戻り、LEDライトは点滅を停止します。
	赤色	3回ビーブ音を2度	リボン切れです。またはリボンサプライシャフトが作動していません。	新しいリボンロールに交換します。
	赤色	2回ビーブ音を2度	用紙を検出できません。	センサーが正しく設定されているか確認します。 (ページ 21 参照)
			用紙切れです。	新しいラベルロールに交換します。
	赤色	2回ビーブ音を2度	用紙フィードの異常です。	考えられる原因: カードタグまたは用紙がプラテンローラーの裏側に詰まった。ラベルギャップ/黒マークを検出できない。黒マーク用紙切れ。実際の使用状況に合わせて調整してください。
	赤色	2回ビーブ音を2度	メモリ不足です。プリンタはMemory full (メモリ不足) とプリントアウトします。	メモリ内の不要データを削除します。
	赤色	2回ビーブ音を2度	ファイル名の繰り返しです。プリンタは「Filename is repeated.(ファイル名の繰り返しです。)」とプリントアウトします。	ファイル名を変更して、もう一度ダウンロードします。

4. 停止位置設定

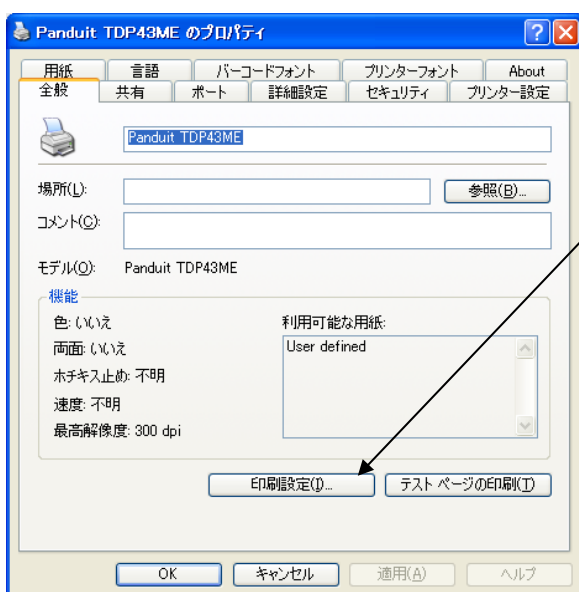
TDP43ME Desktop Printer には、「STOP POSITION（停止位置設定）」という機能が搭載されています。この機能が搭載され、停止位置を設定することで TDP43ME/E プリンタではラベルを印刷後、最後に印刷したラベルを切り取れる停止位置まで、自動的にラベルを送ります。印刷したラベルを切り取った後、再度印刷を開始する時は、ラベルは印刷先頭位置まで自動的に戻ります。

TDP43ME/E プリンタドライババージョン 4.6.63C 以降を使用すると、この停止位置の値は 1.57cm に自動的に設定され、この機能が使えるようになっています。

※ただし、下記のラベルを印刷する際は、この機能が働かないように設定し直してください。ラベルを印刷開始位置まで戻すために、印字ヘッドへ逆向きにラベル送りが行われるときに、ラベルが印字ヘッドの下に引っかかってしまう場合があります。そうすると、ラベルの印字がずれたり、不具合の原因となる場合があります。この問題を避けるため、以下の手順に従い停止位置の値を 0.00 センチに設定し、ラベル送りが逆向きに行われなくないようにしてください。

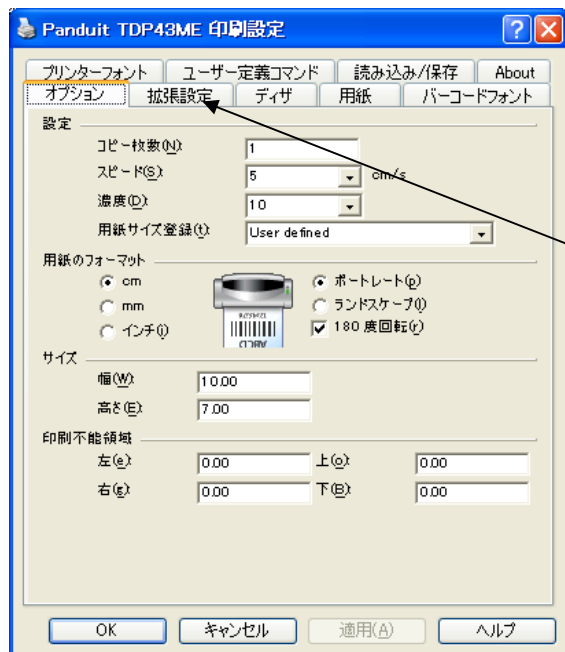
- ラベルの高さが9.5mm以下のビニルクロス製コンポーネントラベル（型番C***X***CBT）
- ラベルの高さが9.5mm以下のノンラミネートラベル（型番Nから始まるラベル）
- すべてのサイズの熱収縮チューブマーカー（型番Hから始まるラベル）

停止位置の値を 0.00cm または 1.57cm に設定する手順



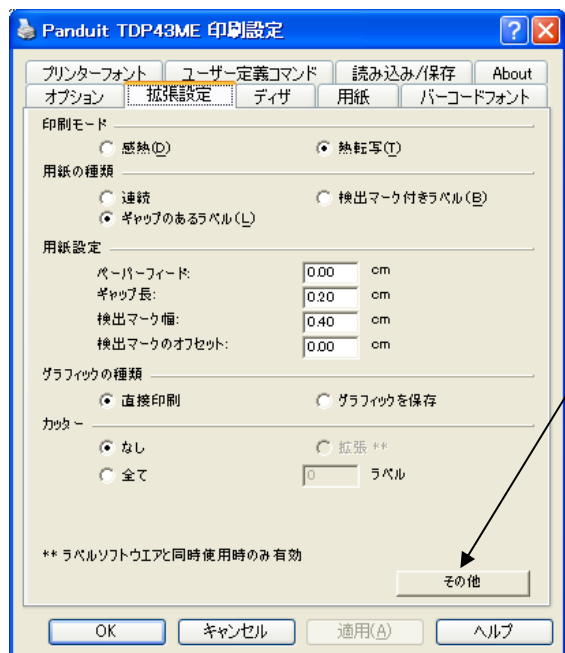
「プリンタと FAX (P)」で、TDP43ME/E プリンタを右クリックしプロパティを選択します。この操作で、選択したプリンタのプロパティページが表示されます。

全般タブの「印刷設定(I)」ボタンをクリックします。

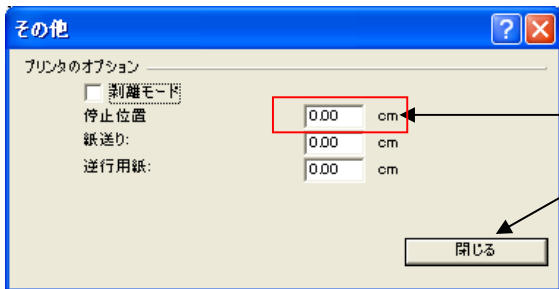


注：現在のドライバのバージョンを確認するには、「ABOUT（バージョン情報）」タブをクリックします。

「印刷設定」ウィンドウで、「拡張設定」タブをクリックします。



「拡張設定」タブで、右下にある「その他」ボタンをクリックします。



「その他」ウィンドウで、「停止位置」入力ボックスに「0.00**」と入力します。「閉じる」をクリックします。

「拡張設定」タブに戻って、「適用」ボタンをクリックし、「OK」をクリックします。全般タブでもう一度「OK」をクリックしてウィンドウを終了します。

※再び、この停止位置機能を作動させる場合は、この値を[1.57]と入力しなおします。

5. 保守と調整

5-1. 熱転写印字ヘッドクリーニング

印字ヘッドの汚れ、リボンやラベルの粘着物の蓄積などは印字品質の低下の原因になります。印刷時は、トップカバーは必ず閉じたままにしてください。また、優れた印字品質を確保し、印字ヘッドの寿命を縮めないように、ラベル用紙が汚れたり損なわれたりしないように注意してください。印字ヘッドクリーニングの手順を以下に説明します。

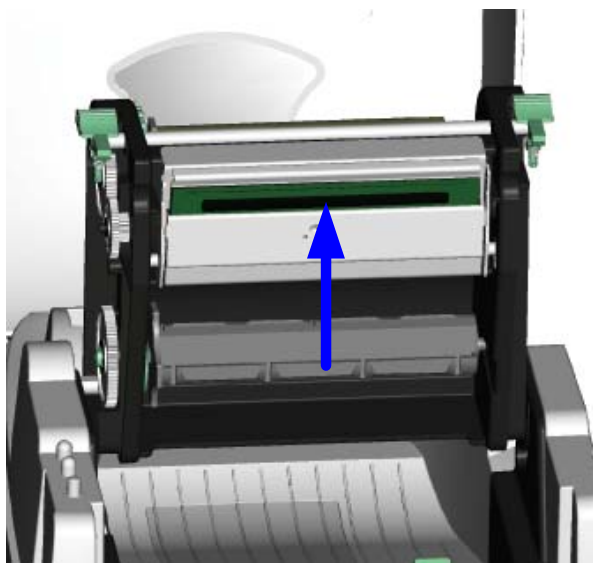
1. プリンタの電源をオフにします。
2. トップカバーを開きます。
3. リボンを取り出します。
4. 印字ヘッドロックを押して印字ヘッドを開きます。
5. 印字ヘッド(青色矢印参照)にラベルの切れ端や他の汚れなどが付着している場合は、柔らかい布に工業用アルコールを染み込ませたもので汚れを拭き取ってください

【注1】

週ごとの定期的な印字ヘッドクリーニングをお勧めします。

【注2】

柔らかい布を使って印字ヘッドクリーニングを行うときは、印字ヘッドに金属片や硬い粒子が付着していないことを確認してください。



5-2. トラブルシューティング

問題	奨励される解決策
プリンタの電源をオンにしたがプリンタのLEDが点灯しない	◆ 電源の接続をチェックします
印刷の停止後にLEDライトが赤色に点灯する(電源/ステータス)	◆ ソフトウェアの設定をチェックします ◆ 適切なラベルまたはリボンに交換します ◆ ラベル切れまたはリボン切れをチェックします(リボンコアがリボン心棒で空回りしていないことを確認してください) ◆ ラベルが詰まったり絡まったりしていないかを確認します ◆ 印字機構部がしっかり閉じているか(熱転写印字ヘッドの位置が正しいか)を確認します ◆ センサーに用紙や埃が付着していないかを確認します。
印刷は開始したが、ラベルに何も印字されない	◆ ラベルが上下逆さまになっていないか、またはラベルが用途に合っているかを確認します ◆ 正しいプリンタドライバを選択します ◆ 正しいラベルとプリンタのタイプを選択します ◆ プリンタが熱転写モードになっているか、確認します (20ページ参照)
印刷時にラベルが詰まったり絡まったりする	◆ 使用しているラベルに対して、停止位置設定が正しいか確認します。(23ページ参照) ◆ ラベル詰りを抜き取ります。熱転写印字ヘッドにラベルが詰まってしまったときは、柔らかい布にアルコールを染み込ませたもので拭き取って下さい。
印刷時に、印字内容が一部しか印刷されない	◆ 熱転写印字ヘッドにラベルまたはリボンが詰まっていないかを確認します ◆ アプリケーションソフトウェアにエラーがないかを確認します ◆ 開始位置設定にエラーがないかを確認します ◆ リボンにシワが寄っていないかを確認します ◆ リボンサプライシャフトがブラテンローラーと擦れ合っていないかを確認します。 ◆ 電源に問題がないかを確認します
印刷時に、ラベルの一部がきちんと印刷されない	◆ 熱転写印字ヘッドに汚れや埃が付着していないかを確認します
目的の位置にプリントアウトされない	◆ センサーに用紙や埃が付着していないかを確認します ◆ 正しいラベルが選択されているか確認します ◆ ラベル印字ソフトのラベル設定を確認します ◆ ラベルロールの端がラベル幅ガイドに揃っているかを確認します
印刷時に、ページをとばして印刷する	◆ ラベルの高さの設定にエラーがないかを確認します ◆ センサーに埃が付着していないかを確認します
プリントアウトが不鮮明	◆ ラベル印字ソフトウェアで印字濃度の設定を確認します ◆ 熱転写印字ヘッドに接着剤や汚れが付着していないかを確認します

※ご不明点は、パンドウイト担当営業、もしくはカスタマーサービスまでお問い合わせください。
(e-mail: jpn-info-e@panduit.com TEL: 03-6863-6060)